

2023年2月 東京地区百貨店売上高概況

2023年3月23日

I. 概況

1. 売上高総額	1,111億円余
2. 前年同月比(増減率)	20.4%(18か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭25.1%(90.4%)：非店頭-11.0%(9.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年1月対比-1店)
5. 総店舗面積	727,857㎡ (前年同月比：-9.3%)
6. 総従業員数	14,336人 (前年同月比：-5.4%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 26.5%、8-10月 26.3%、9-11月 16.2%、 10-12月 10.3%、11-1月 11.0%、12-2月 14.6%

[参考] 2022年2月の売上高増減率は5.1%

【特徴】

- (1) 2月の東京地区は、売上高20.4%増、入店客数19.3%増と、前月に続き共に二桁の伸びとなった。前年のまん延長防止等重点措置の反動に加え、各社の組織顧客向け施策が奏功した他、歳時記やインバウンド需要が売上を押し上げた。コロナ前の2019年比では売上高4.6%減と、回復基調は続いている。
- (2) 商品別では、主要5品目全てプラスとなった。主力の衣料品(31.2%増/17か月連続)は、卒入学等のオケージョン商材が好調で婦人服ではブラウス、セットアップ、ジャケット等が伸長した他、紳士・婦人共にトラベル需要からカジュアルウェアやシューズに動きが見られた。また、平年より気温が高めに推移したことで春物アイテムが動いた一方、急な気温低下からコート等重衣料の需要も生じるなど、当月の天候要因は、端境期の商材双方にとって共に好影響をもたらした。
- (3) 身のまわり品(31.9%増/18か月連続)は、ラグジュアリーブランドではギフト需要もあり、引き続き増勢が続いている。スーツケース等の旅行鞆も好調だった。雑貨(21.5%増/18か月連続)は高級時計を中心に好調を維持しており、化粧品では、マスク着用緩和を受けて、口元のアイテムの他、ベースメイクアイテムにも動きが見られた。
- (4) 食料品(5.8%増/18か月連続)は、行動制限がない中で実施された各社のバレンタイン商戦が大幅に伸長し、特設したイトインも盛況で、顧客の店頭回帰が顕著に見られた。菓子は個人・法人の手土産需要の増加、惣菜は恵方巻の好調もあり、共に24か月連続増となったが、生鮮食品は価格高騰や寒波の影響等もあり、5か月連続減と苦戦している。
- (5) 3月中間段階の商況は、前年比17.5%増(3/15時点)で推移している。コロナ前の2019年比でも約3%増と、明らかな回復傾向を見せている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 27.8日(前年同月比 -0.1日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
①増加した：16店、②変化なし：0店、③減少した：1店
- (3) 2月歳時記(節分、バレンタインデー)の売上(同上/有効回答数15店舗)
①増加した：10店、②変化なし：4店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年2月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	111,173,800	100.0	20.4
紳士服・洋品	7,383,246	6.6	29.8
婦人服・洋品	16,960,051	15.3	37.8
子供服・洋品	2,192,734	2.0	15.5
その他衣料品	1,172,421	1.1	-4.7
衣 料 品	27,708,452	24.9	31.2
身のまわり品	18,641,733	16.8	31.9
化粧品	9,223,675	8.3	26.4
美術・宝飾・貴金属	11,961,888	10.8	19.6
その他雑貨	4,074,123	3.7	16.9
雑 貨	25,259,686	22.7	21.5
家 具	1,134,241	1.0	-4.2
家 電	1,188,080	1.1	15.4
その他家庭用品	2,923,374	2.6	27.2
家 庭 用 品	5,245,695	4.7	16.2
生 鮮 食 品	2,793,047	2.5	-6.7
菓 子	10,662,251	9.6	15.3
惣 菜	5,459,124	4.9	0.5
その他食料品	9,195,754	8.3	3.2
食 料 品	28,110,176	25.3	5.8
食 堂 喫 茶	2,039,411	1.8	56.0
サ ー ビ ス	1,836,256	1.7	0.4
そ の 他	2,332,391	2.1	14.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,101,395 千円	5.1
従 業 員 数	14,336 人	-5.4
店 舗 面 積	727,857 m ²	-9.3

営 業 日 数	27.8 日	前年	27.9 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全てプラスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品が16か月連続、婦人服・洋品が18か月連続でプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属が25か月連続でプラスとなったが、家具が3か月ぶり、生鮮食品が5か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	20.4	—	18か月連続プラス
紳士服・洋品	29.8	1.8	16か月連続プラス
婦人服・洋品	37.8	5.0	18か月連続プラス
子供服・洋品	15.5	0.3	8か月連続プラス
その他衣料品	-4.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	31.2	7.1	17か月連続プラス
身のまわり品	31.9	4.9	18か月連続プラス
化粧品	26.4	2.1	18か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	19.6	2.1	25か月連続プラス*
その他雑貨	16.9	0.6	12か月連続プラス*
雑貨	21.5	4.8	18か月連続プラス
家具	-4.2	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	15.4	0.2	5か月連続プラス
その他家庭用品	27.2	0.7	2か月連続プラス
家庭用品	16.2	0.8	2か月連続プラス
生鮮食品	-6.7	-0.2	5か月連続マイナス*
菓子	15.3	1.5	24か月連続プラス*
惣菜	0.5	0.0	24か月連続プラス*
その他食料品	3.2	0.3	8か月連続プラス*
食料品	5.8	1.7	18か月連続プラス
食堂喫茶	56.0	0.8	12か月連続プラス
サービス	0.4	0.0	2か月ぶりプラス
その他	14.7	0.3	5か月ぶりプラス
商品券	5.1	0.1	4か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>